

平成 23 年 3 月 11 日から 令和 3 年 3 月 11 日までの年表と写真

Chronology

2011.3.11 14:46 からの 復興の軌跡

2011年3月11日14時46分に発生した東日本大震災。
あの時から現在に至るまでの福島市の復興の軌跡と出来事をたどります。

2011
平成23年

※市外の出来事

3 11

- 14:46 ・東日本大震災(東北地方太平洋沖地震発生)
- 14:50 ・災害対策本部設置
- 15:20 ・福島地方水道用水供給企業団の送水管が破損し市内全域の(111,779戸)で断水
- 16:00 ・避難所を開設、受け入れ開始
- 16:45 ・あさひ台団地(80世帯164人)の法面崩落に対して避難指示及び自衛隊派遣要請(写真①)
- 19:15 ・福島学院大学本館2階座屈より3人救出(写真②)
 - ・福島市ほか東北電力福島営業所管内約14万7千戸停電
 - ・安全確保のため蓬萊団地(2,571件)を中心に全体で2,952件の都市ガス供給を停止

3 12

- 2:45 ・避難所74カ所に6,910人避難
- 5:00 ・給水車による給水活動開始(写真③)
- 8:30 ・震災による被災建築物応急危険度判定調査開始
- 9:40 ・災害ボランティアセンターを本庁舎1階に開設(写真④)
- 11:00 ・東北自動車道での緊急車両通行可能に
- 12:00 ・相互支援協定締結の東京都荒川区より救援物資(毛布・乾パン)が到着
 - ・市立幼稚園、小、中学校、特別支援学校で3月14、15日の臨時休校措置決定

3 13

- 15:36 ・福島第一原子力発電所1号機で水素爆発
- 10:00 ・避難所74カ所に5,661人避難



①あさひ台団地の法面崩落



②福島学院大学本館2階座屈



③給水車による給水活動



④災害ボランティアセンター開設
(写真提供：福島市社会福祉協議会)

2011

平成 23 年



3 13

13:00 ・福島交通飯坂線全線運行再開

22:10 ・相互支援協定締結のさいたま市より救援物資が到着

3 14

3:12 ・電気供給が全面復旧

9:00 ・福島工業団地、福島研究公園、松川工業団地の3カ所で災害ごみ仮置き場を開設、受け入れ開始

11:01 ・福島第一原子力発電所3号機で水素爆発

16:00 ・避難所50カ所に6,323人が避難

・市立幼稚園、小、中学校、特別支援学校で3月16日まで臨時休校延長措置決定

3 15

6:10 ・福島第一原子力発電所2号機で爆発音・福島原子力発電所事故対策統合本部設置

8:00 ・福島市民避難者4,141人、広域避難者4,354人、合計8,495人、避難所47カ所で避難者数が最大となる

・市立幼稚園、小、中学校、特別支援学校で3月18日まで臨時休校延長措置決定

16:04 ・福島第一原子力発電所4号機で水素爆発

18:40 ・福島市の県北保健福祉事務所にある放射能測定器で放射線量
最大値24.24 μ Sv/hを記録

用語解説
 μ Sv/h
マイクロシーベルト毎時
1時間あたりの生体への
被曝の大きさの単位。

3 16

・福島市東日本大震災義援金の受け入れ開始

3 17

・生活安定総合相談窓口を市役所本庁舎1Fに開設

・飯坂地区温泉施設等を避難者へ無料開放(～2011年7月31日まで)

3 18

・市立幼稚園、小、中学校、特別支援学校で3月23日まで臨時休校延長措置決定

3 22

・市立福島特別支援学校卒業証書授与式中止

・市立幼稚園修了式中止

・水道供給が全面復旧(避難指示区域除く)

・東北自動車道(宇都宮IC～一関IC)大型車両等通行可能



〈参考〉自衛隊による給水活動



〈参考〉避難所の炊き出し(写真提供:福島市社会福祉協議会)



〈参考〉ガソリンを求めて並ぶ市民(渡利地区)



〈参考〉生活物資を求めて並ぶ市民(杉妻地区)
(写真提供:杉妻地区町会連合会)



3	23
3	24
3	28
3	31
4	1
4	6
4	10
4	12
4	19
4	21
4	28
4	29
5	1
5	8
5	11

- ・ 市立小学校卒業証書授与式中止。小、中学校、特別支援学校修了式中止
- ・ 震災による被災家屋調査開始
- ・ 都市ガス供給が全面復旧
- ・ 東北自動車道全線(浦和IC～青森IC)一般車両通行可能
- ・ 「平成23年東北地方太平洋沖地震に伴う地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の特例に関する法律」の規定に基づき福島市議会議員選挙が平成23年7月31日に延期決定
- ・ 山形新幹線(福島～新庄)・奥羽本線(福島～青森)運転再開
- ・ 大震災による災害の名称を「東日本大震災」と閣議決定
- ・ 市立小、中学校、特別支援学校で入学式・第1学期始業式は通常通り行われる
- ・ 東北本線(本宮～福島)運転再開
- ・ 東北新幹線(那須塩原～福島)運転再開。福島～東京間がつながる
- ・ 東北本線(福島～仙台)運転再開
- ・ 来庁した東京電力(株) 鼓副社長へ原発事故の収束に向け一刻も早い解決に取り組むこと、本市産業への影響に対する十分な対策と補償を講じることについて福島市より申し入れを行う
- ・ 東北本線(上野～青森)41日ぶり全線運転再開
- ・ 南相馬市と「東日本大震災に伴う避難者の支援に関する協定書」を調印。避難者支援と福島市役所内に南相馬市役所福島出張所の設置について協定を締結
- ・ 東北新幹線(東京～新青森)49日ぶり全線運転再開
- ・ 福島市長をはじめ、県内首長より内閣総理大臣へ子どもたちの安全・安心確保について要望書を提出
- ・ 福島市の幼稚園の園庭で、表土と下層の土を入れ替える上下置き換え法を文科省が実施検証。放射線量が10分の1に下がる効果
- ・ 天皇皇后両陛下があづま総合体育館をご訪問され、広域避難者を激励される(写真⑤)



◎天皇皇后両陛下があづま総合体育館をご訪問



〈参考〉 応急仮設住宅入居開始



〈参考〉 福島県広域避難所(あづま総合体育館)



〈参考〉 福島市消防本部による 県内広域応援隊活動



- | | | |
|---|----|--|
| 5 | 11 | ・市小学校鼓笛パレード中止 |
| 5 | 16 | ・阿武隈急行66日ぶり全線運行再開 |
| 5 | 26 | ・完成した笹谷東応急仮設住宅へ広域避難者が入居開始 |
| 5 | 27 | ・比較的線量が高い26の学校等の校庭・園庭から表土改善事業(除染)開始(写真⑥) |
| 5 | 30 | ・飯館村と「飯館村計画的避難区域に伴う避難者の支援等に関する協定書」を調印。避難者支援と飯野支所内に飯館村役場飯野出張所の設置について協定を締結(写真⑦) |
| 6 | 20 | ・NEXCO 東日本が高速道路の通行を被災者支援や当面の復旧・復興支援のため「東北地方無料措置」を行う |
| 6 | 24 | ・6月17、20日に本市の1,118地点を一斉放射線量測定した結果を発表。市内全域の平均線量は1.33 μ Sv/h |
| 6 | 29 | ・福島市長より内閣総理大臣へ原子力災害への対応にかかる支援等について要望書を提出 |
| 7 | 2 | ・福島市長より復興担当大臣へ「子どもたちの放射線低減対策の支援を各省庁が連携して取り組むこと」について要望書を提出 |
| 7 | 11 | ・損壊家屋等の解体処理事業開始(～平成24年6月29日まで受付件数3,168件)
・簡易放射線測定器100台を配備し町内会等への貸し出しを開始 |
| 7 | 12 | ・避難者が二次避難所(旅館、仮設住宅、借り上げ住宅)へ移動したことから避難所を閉所 |
| 7 | 14 | ・浪江町と「東日本大震災に伴う避難者の支援に関する協定書」を調印。避難者支援と福島市役所内に浪江町役場福島出張所の設置について協定を締結 |
| 7 | 21 | ・「東北大学福島原発事故対策本部福島分室」あぶくまクリーンセンター内に開設 |
| 7 | 24 | ・渡利地区の住民とボランティア3,753人で通学路の除染活動を行う(写真⑧)
・福島市が渡利地区をモデル地域として南向台小学校通学路と民家の除染を実施 |



⑥学校等の校庭・園庭の表土改善事業(除染)開始



⑦飯館村役場飯野出張所開所(福島市)



⑧渡利地区の住民とボランティアによる除染活動



〈参考〉公園の環境放射線量低減対策実験(新浜公園)

7	25
7	31
8	6
8	9
9	1
9	16
9	27
10	6
10	18
10	29
11	1
11	14
11	16
11	17
11	19
11	22

- ・公園(506カ所)除染作業開始
- ・震災で延期になっていた福島市議会議員選挙執行
- ・福島わらじまつりを1日短縮で開催
- ・福島市が大波地区をモデル地域として大波小学校通学路の除染を実施
- ・市内の幼稚園、保育所、小、中学校等の児童生徒と妊婦を対象に個人積算線量計(ガラスバッジ)を配布。対象者は46,303人(写真⑨)
- ・「放射線と子どもの健康」講演会開始
- ・福島市ふるさと除染計画(第1版)策定
- ・福島市復興計画原案策定
- ・ふるさと除染計画に基づく住宅等の面的除染作業開始(大波地区住宅及び道路除染開始)
- ・野田首相(当時)が本市の除染作業を視察
- ・大波地区の住民とボランティア109人の協力を得て除染活動を実施(写真⑩)
- ・4カ所の学校給食センターに食品放射能簡易測定器を配置し学校給食用食材の測定開始
- ・旧児童文化センターの1階に放射線モニタリングセンターを開所。(写真⑪)ゲルマニウム半導体検出器2台、食品等簡易測定器3台で検査。また、モニタリングセンター内に「東北大学福島原発事故対策本部福島分室」を移設
- ・県が大波地区で収穫された玄米から食品衛生法の暫定基準値(1kg当たり500Bq)を超える放射性セシウムを検出したことを発表
- ・大波地区で収穫された玄米から暫定基準値を超える放射性セシウムが検出されたことを受け、政府は同地区で平成23年に生産した米を出荷停止するよう県に指示。原発事故による米出荷停止は初
- ・キャンドルメーカーやガスメーカー等の主催による「ふくしまキャンドルナイト2011」が福島競馬場で開催(写真⑫)
- ・県は大波地区の154戸の農家で生産された米については原則全袋調査を実施することとし、22日より米のサンプリングを開始

用語解説
Bq
ベクレル
1秒間に放射線を出す放射性物質が何個あるかを表している



⑨個人積算線量計(ガラスバッジ)を配布



⑩大波地区の住民とボランティアによる除染活動



⑪放射線モニタリングセンター開所(食品等の放射能測定開始)



⑫ふくしまキャンドルナイト2011

2011

平成 23 年

11 22

・ 国道13号福島西道路の南伸ルートの都市計画が決定

11 25

・ 大波地区の米の全袋検査で、県は新たに5戸から暫定基準値を越す放射性セシウムを検出したと発表。基準値超えは154戸のうち6戸に

11 30

・ 東京電力(株)が来庁し大波地区産米に関する件で謝罪

12 2

・ 渡利地区の農家3戸で生産された米から暫定基準値を超える放射性セシウムを検出。県は同地区を含む旧福島市の米の出荷自粛を要請

12 5

・ 大波地区で行われていた米の全袋検査で、新たに2戸で暫定基準値を超える

12 27

・ 政府は渡利地区を含む旧福島市の平成23年米を出荷停止するよう県に指示

・ 山形市と米沢市に自主避難した福島市民の不安を解消するための説明会を開催

2012

平成 24 年

1 4

・ 市立小、中学校は夏休み延長に伴い例年より早く3学期入り

1 17

・ 常陸宮同妃両殿下が松川工業団地第一応急仮設住宅をご訪問される

1 30

・ 「災害時の社会福祉施設等への給油支援」事前登録の受付開始

2 1

・ 農地・畑地の吸着資材を使用した反転耕及び果樹園地の樹皮洗浄除染開始(写真⑬)

2 2

・ 駐日スペイン国特命全権大使市長表敬訪問

・ 福島市復興計画策定

2 6

・ 最初の仮置場設置工事着手(大波地区)

2 16

・ 自主避難者行政相談窓口を山形市と米沢市に開設

2 21

・ 文部科学省が設置を進めていたリアルタイム線量測定システムの運用開始。福島市では359カ所設置(写真⑭)

2 22

・ 渡利地区の面的除染作業開始

2 27

・ 市独自で導入した移動式ホールボディカウンタ車による内部被ばく検査を大波小学校から開始(写真⑮)



⑬果樹園地の除染作業



⑭リアルタイム線量測定システムの運用開始



⑮市が導入した移動式ホールボディカウンタ車



〈参考〉住宅除染の住民説明会

2	27
3	1
4	2
4	6
4	7
4	9
4	10
4	21
4	24
4	25
4	30
5	12
5	14
5	16
5	19
5	21

- ・生活が困難な高齢者などが安心して避難生活が送れるよう、老人ホームや障がい者施設(28法人42施設)などと「福島市福祉避難所指定に関する協定」を締結
- ・食品等放射能測定を17支所と大波出張所、放射線モニタリングセンター、アオウゼ、産業交流プラザの21カ所で開始(写真⑯)
- ・「保育所給食まると検査事業」が23カ所の支所・学習センター等で開始
- ・福島県より平成23年に出荷制限区域となった大波・渡利地区において平成24年産稲の作付自粛要請を受ける
- ・福島競馬が1年5ヵ月ぶり再開
- ・渡利地区弁天山公園でボランティア387人の協力を得て除染作業を実施(写真⑰)
- ・「学校給食まると検査事業」が4カ所の学校給食センター及び17カ所の支所・学習センター等で開始
- ・細野環境大臣(当時)が大波地区仮置場を視察
- ・福島商工会議所主催の「ふくしまキッズパレード」開催
- ・3月8日～23日に本市の2,916地点を一斉放射線量測定した結果を発表。市内全域の平均線量は0.77 μ Sv/h
- ・福島市に避難している広域避難者を支援するため75歳以上の避難住民を対象に高齢者バス無料乗車証の交付開始
- ・住宅除染92,730戸中577戸完了(進捗率0.6%)
- ・小学校の校庭で運動会が2年ぶりに再開
- ・平成23年3月11日に0～18歳までの全県民(約350,000人)を対象とした県民健康管理調査による甲状腺検査開始。福島市では0歳～18歳までの約53,000人が対象
- ・平野復興大臣(当時)が大波地区仮置場を視察
- ・2年ぶりに市小学校鼓笛パレード開催
- ・大波城址でボランティア102人の協力を得て除染作業を実施
- ・福島市ふるさと除染実施計画(第2版)策定



⑯非破壊式放射能測定装置



⑰渡利弁天山でボランティアによる除染活動(写真提供：福島県)



〈参考〉渡利地区住宅の除染作業(屋根洗浄)



〈参考〉一般住宅の除染作業

2012

平成 24 年

6	1
6	27
6	30
7	1
7	31
8	3
8	11
8	18
9	20
9	29
10	5
10	30
11	15
2013	
平成 25 年	
2	1
2	2

- ・JA新ふくしま営農センター等10カ所で食品放射能測定体制が整い、単独の学習センターでの測定も含め本市では38カ所での測定体制が整う
- ・小学校の屋外プール授業が再開
- ・駐日ルーマニア特命全権大使市長表敬訪問
- ・福島市地域の恵み安全対策協議会による出荷用農産物の放射性物質モニタリング検査開始
- ・地域で特に空間線量率が高い箇所を選定し除染する「地域のホットスポット」除染事業開始
- ・福島わらじまつりが2年ぶりに再開、「幸福わらじ」が登場
- ・比較的線量が低い茂庭地区の広瀬公園内に外遊びができる遊具を新設
- ・中央市民プールが2年ぶりに再開
- ・福島市地域の恵み安全対策協議会による米の全量全袋検査開始(平成24年米から)(写真⑱)
- ・原発事故の影響で外で遊べない子どものため、市民会館内に屋内遊び場「さんどパーク」オープン(写真⑲)
- ・福島市こでらんに博〜これからも福島市でくらしていくということ〜をテーマに「元気ふくしま復興シンポジウム」開催(写真⑳)
- ・長浜環境大臣(当時)が本市を訪問、中間貯蔵施設の早期設置や個人で除染した費用を東電負担への要望を行う
- ・福島西道路(南伸区間)の道路中心杭を設置(写真㉑)
- ・花見山、2年ぶりに全面開放(観光客数237,000人)
- ・福島市長が根本復興大臣(当時)と面会し支援等について要望書を提出(写真㉒)



⑱米の全量全袋検査開始



⑲市民会館内に屋内遊び場「さんどパーク」オープン



㉑福島西道路の道路中心線設置式(南伸区間)



⑳「元気ふくしま復興シンポジウム」開催



㉒根本復興大臣(当時)に要望書を提出

2	6
2	7
3	1
3	19
3	31
4	1
4	10
4	13
5	9
6	1
6	26
8	26
8	28
10	30
11	17
2014	
平成 26 年	
1	16
2	14
3	3
3	9

- ・長崎市と災害時相互応援協定を締結
- ・山口市と災害時相互応援協定を締結
- ・3月1日～15日に本市の3,280地点を一斉放射線量測定する。市内全域の平均線量は0.56 μ Sv/h
- ・福島県より平成23年に出荷制限区域となった大波・渡利地区において、作付け規制解除の通知を受ける
- ・住宅除染92,730戸中5,113戸完了(進捗率5.5%)
- ・福島市役所内に「除染情報センター」開設(写真⑳)
- ・農業用水路除染開始
- ・十六沼公園内に「ぴよんぴよんドーム」オープン(写真㉑)
- ・秋篠宮同妃両殿下が堀河町終末処理場と飯野町内の仮設飯館中学校をご訪問される
- ・6月1日～2日にかけて東北六大祭りが共演する「東北六魂祭」が福島市において開幕。2日間の来場者数250,000人(写真㉒)
- ・放射線と市民の健康講座開始(写真㉓)
- ・駐日ガーナ共和国大使市長表敬訪問
- ・「福島市復興事業等警察連絡協議会」設置
- ・原子力損害賠償紛争解決センターへ和解仲介を申し立てる
- ・福島市長選挙
- ・あさひ台団地の避難指示が2年10カ月ぶりに解除
- ・「福島わらじまつり」が台湾の「ランタンフェスティバル」で海外初披露
- ・3月3日～20日に本市の3,292地点を一斉放射線量測定する。市内全域の平均線量は0.37 μ Sv/h
- ・福島ユナイテッドFCがJ3初戦を戦う



⑳福島市役所内に「除染情報センター」開設



㉑十六沼公園内に「ぴよんぴよんドーム」オープン



㉓放射線と市民の健康講座



〈参考〉小学生へ放射線教育の公開授業



㉒東北六大祭りが共演する「東北六魂祭」が開幕

2014

平成 26 年

3	31
6	6
7	14
8	31
9	19
12	12

- ・住宅除染92,730戸中31,003戸完了(進捗率33.4%)
- ・第98回日本陸上競技選手権大会が開幕
- ・駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ大使市長表敬訪問
- ・飯舘村が飯野町に建設を進めていた復興公営住宅「飯野町団地」(23戸)が完成
原発事故避難者が入居する災害公営住宅の完成は県内初
- ・第68回全国レクリエーション大会が開幕(写真⑳)
- ・吾妻山の噴火警戒レベルが1から2に引き上げられる

2015

平成 27 年

2	23
2	24
3	3
3	27
3	31
4	1
4	11
4	18
5	16
6	1
6	8
10	7
11	20

- ・2月23日～3月9日に本市の3,292地点を一斉放射線量測定する。市内全域の平均線量は0.31 μ Sv/h
- ・除染廃棄物を保管する中間貯蔵施設をめぐり、福島県知事が施設への廃棄物搬入の受け入れを表明
- ・福島駅西口駅前広場がリニューアル
- ・中心市街地活性化事業計画策定
- ・住宅除染92,730戸中57,741戸完了(進捗率62.2%)
- ・四季の里内に屋根付き運動場(木もれび広場)オープン
- ・SFCももりんパーク(児童公園)リニューアルオープン
- ・熊本地震にて被災した熊本市へ緊急物資出発(写真㉑)
- ・ペットボトル「ふくしまの水」が国際味覚審査機構優秀味覚賞一つ星授賞
- ・ペットボトル「ふくしまの水」がモンドセレクション金賞授賞(写真㉒)
- ・駐日ブルガリア大使市長表敬訪問
- ・健康長寿のための体づくり「いきいきももりん体操」開始
- ・土湯温泉で源泉から出る蒸気を利用したバイナリー発電所竣工



㉒ペットボトル「ふくしまの水」がモンドセレクション金賞授賞



㉑第68回全国レクリエーション大会が開幕



㉑熊本地震にて被災した熊本市へ緊急物資出発



〈参考〉仮置場での除去土壌(土のう)の保管状況



〈参考〉支援等への感謝メッセージ

12 1
2016
平成 28 年

2 15
2 26
3 31
5 27
5 30
8 1
8 18
9 5
9 11
11 1
11 11
12 9

2017
平成 29 年

2 7
2 13
3 13
3 17

- ・中間貯蔵施設へのパイロット輸送開始(大波地区)
- ・2月15日～3月8日に本市の3,292地点を一斉放射線量測定する。市内全域の平均線量は0.25 μ Sv/h
- ・東京都荒川区と友好都市協定を締結(写真⑩)
- ・住宅除染92,730戸中91,648戸完了(進捗率98.8%)
- ・公園除染完了(506カ所)
- ・ペットボトル「ふくしまの水」モンドセレクション2年連続金賞授賞
- ・住宅除染の計画戸数92,730戸すべて完了
- ・福島県立医科大学附属病院内に派遣型救急ワークステーションを設置
- ・第1回福島圏域首長懇話会を開催
- ・福島市ふるさと除染実施計画(第2版)一部改訂
- ・除染で発生した土壌を中間貯蔵施設へ本格輸送開始(写真⑪)
- ・東北中央自動車道福島JCT～福島大笹生IC開通
- ・公園内に現場保管している除去土壌を仮置場へ搬出開始
- ・街道復興「東北のまち、みち」を大会テーマとした全国街道交流会「第11回全国大会福島大会」開催
- ・スイス連邦とのホストタウン登録決定
- ・2月7日～3月7日に本市の3,301地点を一斉放射線量測定する。市内全域の平均線量は0.21 μ Sv/h
- ・駐日スイス連邦大使市長表敬訪問
- ・福島市ふるさと除染実施計画(第2版)一部改訂の再改訂
- ・東京2020オリンピック野球・ソフトボール競技福島市開催決定(写真⑫)



⑩東京都荒川区と友好都市協定を締結



⑪中間貯蔵施設へ本格輸送開始(大波地区)



⑫東京2020オリンピック野球・ソフトボール競技福島市開催決定



〈参考〉住宅内に現場保管していた除去土壌搬出

2017

平成 29 年



3	26
5	29
7	8
9	29
10	15
10	28
11	4
11	9
11	10
11	20

- ・大波小学校閉校
- ・ペットボトル「ふくしまの水」モンドセレクション最高金賞受賞
- ・福島市制施行110周年記念式典開催(写真③)
- ・都市計画道路腰浜町町庭坂線(2工区) 開通
- ・レッドブル・エアレース・ワールドシリーズで室屋義秀氏が年間総合優勝に輝く
- ・中間貯蔵施設が本格稼働
- ・東北中央自動車道福島大笹生IC～米沢北IC開通(写真④)
- ・駐日フランス共和国大使市長表敬訪問
- ・農業用ため池除染(66カ所) 開始
- ・福島市長選挙

2018

平成 30 年



1	4
2	13
2	27
3	8
3	24
4	1
4	19
5	24
6	20
7	2
7	22
8	8

- ・大原総合病院上町に移転開院
- ・市内48カ所のフォローアップ除染開始
- ・2月13日～3月13日に本市の3,301地点を一斉放射線量測定。市内全域の平均線量は0.17 μ Sv/h
- ・駐日ポーランド共和国特命全権大使市長表敬訪問
- ・福島市ふるさと除染実施計画(第2版)再改訂の一部改訂
- ・茂庭小学校閉校
- ・中核市移行(写真⑤)
- ・福島市夜間急病診療所が上町に移転
- ・ペットボトル「ふくしまの水」モンドセレクション2年連続最高金賞受賞
- ・福島競馬場開設100周年記念式典開催(JRA)
- ・本市で第2回全国桃サミット開催
- ・平成30年7月豪雨にて被災した倉敷市へ職員を災害派遣(写真⑥)
- ・福島市・飯野町合併10周年記念式典開催(写真⑦)



③福島市制施行110周年記念式典



④東北中央自動車道福島大笹生IC～米沢北IC開通式



⑤中核市移行式典

8	27
9	15
9	30
10	21
11	19
12	1
12	25
12	27

2019

平成 31 年

1	1
1	18
1	29
2	28
4	1
5	24
6	1
6	3
6	17

令和元年

- ・市内3大学2短大、福島商工会議所、福島県中小企業家同友会福島地区と「福島市産官学連携プラットフォーム構築と包括的な連携協定」を締結(写真⑳)
- ・吾妻山の噴火警戒レベルが1から2に引き上げられ、磐梯吾妻スカイラインが通行止め(2019年6月28日に再開通)
- ・ふるさと除染実施計画に基づく住宅、生活圈森林、道路、農地などの面的除染及びフォローアップ除染がすべて完了
- ・NCVふくしまアリーナ(福島市体育館・武道場)オープン
- ・福島圏域連携推進協議会設立
- ・第20回日本ボッチャ選手権大会開幕
- ・「風格のある県都を目指すまちづくり構想」を策定
- ・平成30年12月27日～平成31年2月2日に本市の3,301地点を一斉放射線量測定する。市内全域の平均線量は0.16 μ Sv/h

- ・福島赤十字病院八島町に移転開院
- ・2020ふくしま市民応援団創設
- ・駐日ルアンダ共和国特命全権大使市長表敬訪問
- ・古関裕而・金子夫妻を主人公とした朝の連続テレビ小説「エール」放送決定(写真㉑)
- ・福島大学農学群食農学類開設
- ・土湯温泉復興祭開催
- ・6月1日～2日にかけて「2019東北絆まつり」が福島市において開幕、2日間で来場者数308,000人(写真㉒)
- ・ペットボトル「ふくしまの水」モンドセレクション3年連続最高金賞授賞
- ・吾妻山の噴火警戒レベルが1へ引き下げられる



㉐平成30年7月豪雨にて被災した倉敷市へ災害派遣



㉑福島市・飯野町合併10周年記念式典



㉒「2019東北絆まつり」が福島市で開幕



㉓「福島市産官学連携プラットフォーム構築と包括的な連携協定」を締結



㉔古関裕而・金子夫妻を主人公とした朝の連続テレビ小説「エール」放送決定

2019

令和元年

6	28
7	30
8	3
8	28
9	30
10	12
10	28
11	17
12	2
12	17

- ・ベトナム社会主義共和国とのホストタウン登録決定(写真④①)
- ・第29回世界少年野球大会福島大会開幕(写真④②)
- ・福島わらじまつり開幕「新わらじおどり」披露(写真④③)
- ・市民総ぐるみ「健都ふくしま創造市民会議」を開催(写真④④)
- ・バリアフリー推進パートナー「キックオフミーティング」開催(写真④⑤)
- ・令和元年東日本台風(台風第19号)関東・甲信・東北地方で記録的な大雨。本市でも甚大な浸水等の被害が発生
- ・健康長寿のための体づくり「お口のももりん体操」開始
- ・第31回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)福島市が14年ぶり総合優勝
- ・令和元年12月2日～令和2年1月17日に本市の3,301地点を一斉放射線量測定する。市内全域の平均線量は0.15μSv/h
- ・県内初、スイス連邦との「共生社会ホストタウン」登録決定

2020

令和2年

1	10
1	20
1	30
3	4
3	6
3	15
3	23
3	24

- ・米の全量全袋検査終了(令和元年米まで)
- ・福島おおぞらインター工業団地造成完了
- ・新型コロナウイルス感染症対策本部設置
- ・市立小、中学校、特別支援学校が3月23日まで臨時休校措置決定
- ・県内初、スイス連邦との「先導的共生社会ホストタウン」に認定
- ・市民の交流・活動拠点まちなか交流施設「ふくふる」開館。市民が自らDIYで施設のイスや机を手作り
- ・新型コロナウイルス対策として福島市緊急支援策第1弾発表
- ・東京2020オリンピック聖火リレー「復興の火」開催



④①ベトナムとのホストタウン登録決定



④②第29回世界少年野球大会福島大会開幕



④④「健都ふくしま創造市民会議」開催



④⑤バリアフリー推進パートナー「キックオフミーティング」開催



④③福島わらじまつり開幕「新わらじおどり」披露

3	24	・新型コロナウイルスの世界的な流行により、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が1年程度延期することが決定
3	30	・古関裕而・金子夫妻を主人公とした朝の連続テレビ小説「エール」放送開始
3	31	・福島市内で初めて新型コロナウイルス感染者が発生
8	31	・中合福島店閉店
9	1	・メロディーバス運行開始
9	26	・(仮称)道の駅ふくしま着工
12	15	・福島市街なか交流館(旧中合福島店2階)オープン
12	20	・福島市新型コロナウイルス緊急警報発令(令和3年1月11日まで)
2021		
令和3年		
3	11	・東日本大震災から10年

「震災復興パネル展」

東日本大震災・原発事故から10年を迎えるにあたり、被災県の県都として、これまで国内外からいただいた支援に対する感謝や復興の軌跡、新たなまちづくりの方向性などを発信し、記憶と教訓を次世代に継承する「震災復興パネル展」を開催。

【第1クール】

開催場所 福島学院大学福島駅前キャンパス1階
学生ラウンジ
開催日 令和2年9月19日(土)～
11月23日(月・祝)

【第2クール】

開催場所 福島市街なか交流館(旧中合福島店2階)
開催日 令和2年12月15日(火)～
令和4年2月28日(月)



【復興年表】



【伝承館移動展示コーナー】



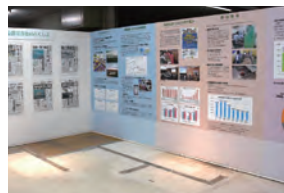
【80インチ大型モニター】



【除染等の道具展示】



【オリ・パラ展示コーナー】



【復興データほか】

震災復興イベント

「東日本大震災・原発事故から10年、復興とその先の未来を」

東日本大震災で亡くなられた方々に追悼の意と、鎮魂の祈りを捧げるとともに、東日本大震災・原発事故の記憶と教訓、さらには新ステージを目指す新たなまちづくりを県都福島市から発信しました。

東日本大震災・原発事故から10年 復興とその先の未来を

参加費 無料 定員 300名

2021 3/7 日 13:30 (開演) 15:20 (閉演)

会場 桜の聖母短期大学 マリアンホール講堂 福島県福島市花園町3-6

主催 福島市

第1部 鎮魂・追悼祈念イベント 13:30・14:10

- ◆ 開会・黙とう
- ◆ 詩の朗読 司 和合 亮一 さん
- ◆ 独唱「長崎の鐘」ソプラノ 阿部 結美子 さん ピアノ 富山 律子 さん
- ◆ 「希望の鐘」の場読

第2部 トークイベント 14:20・15:20

- ◆ トークイベント「復興から新たなまちづくりへの挑戦・発信」コーディネーター 木村 浩 さん
- ◆ 出演 菅原 健秀 さん Ruu さん 和合 亮一 さん 西内 みなみ さん
- ◆ 独唱「栄冠は君に輝く」ソプラノ 今岡 聖 さん ピアノ 富山 律子 さん
- ◆ 開会

司会 阿部 結美子 さん 富山 律子 さん 今岡 聖 さん

司会 菅原 健秀 さん 菅原 健秀 さん エアレス・バイロイト さん タナベ、新井 さん 和合 亮一 さん 西内 みなみ さん

協賛 福島市観光文化振興会アドバイザー 三浦 尚之 さん エアレス・バイロイト さん タナベ、新井 さん 和合 亮一 さん 西内 みなみ さん

協賛 福島市 関分 久美恵 アナウンサー 菅原 健秀 さん Ruu さん 和合 亮一 さん 西内 みなみ さん

※新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施いたしますが、状況に応じ、定員、時間などの変更または中止することがありますのでご了承ください。

お問い合わせ 福島市 政策調整部 政策調整課 TEL.024-525-3768